



第67号

令和4年2月15日

# むらかみ

市議会だより

## 市民の宝 輝く瞳

だんご きかざ  
団子の木飾り

### 放課後子ども教室わくわくキッズさべり

1月15日、山辺里小学校の1年生から3年生の13人で、今年で4年目となる団子の木飾りを行いました。

子どもたちからは、「団子を丸くして、粉に転がすのが楽しかった」「木の高いところに飾るのが面白かった」などの感想でした。

豊作や火伏せが縁起の団子の木、健やかな子どもの成長を願い、小正月をめでたく彩りました。

### 第4回定例会

- 第3次総合計画基本構想を審議…………… 2~3ページ
- 市政を問う!! 11人が一般質問…………… 4~10ページ
- 委員会の審査報告…………… 11~13ページ
- 議決結果…………… 14~15ページ
- 議会の取り組み…………… 16~17ページ
- 閉会中事務調査…………… 18~19ページ
- インタビュー…………… 20ページ

# 基本構想を審議

12月定例会では、第2次総合計画が3年度末をもって終了することから、4年度～8年度までの5年間を計画期間とする第3次総合計画の基礎部分となる基本構想の策定について審議しました。

「総合計画」は、本市の最上位計画であり、市民の豊かで安全安心な暮らしや市の持続的発展に向け、人口減少対策や行政運営への取り組みを含めた総合的かつ計画的な運営の基本となる計画です。

第3次総合計画では、第2次総合計画で掲げた「笑顔のまち」の将来像を引き継ぎつつ、さらなる活力を持って本市を次世代へつないでいくという強い意志や理想を込めて、『あふれる笑顔のまち村上』をまちの将来像としています。  
※質疑の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。



本間善和議員

**問** 土地利用構想では、山北地域の府屋と勝木の両集落で、サービスが集積したエリアを「北部拠点地域」とするところがあるが、具体的にどのような構想か。

**答** 2集落には、行政機能が集積しているため、拠点性を発揮していかなければならぬ

いと考えている。既存の資源を磨き上げ、必要であれば追加していく。また、点在する集落のアクセスを総合的に考えていく。既存の施設を有効に活用しながら持続可能なまちづくりを図りたい。

**問** 防犯活動の一環として、通学路や横断歩道に照明機能を兼ねた防犯カメラの設置を検討すべきでないか。

**答** 公共の利益と個人の利益の両者を考えると悩ましいところであるが、有効なことは十分理解できるため、検証をしながら進めていく。



尾形修平議員

**問** 第2次総合計画でも大規模修繕や建て替えを検討するとなっていた火葬場について、今後の見通しは。

**答** 大規模改修というよりは建て替えの方向性で考えている。現在の3施設を1カ所にするのか、2カ所にするのかは今後、議論を進める必要がある。



木村貞雄議員

**問** 消防団の組織再編の内容は。

**答** 現在、集落ごとに部となっているが、人口減少等に伴い、団員の確保が困難な状況がある。部を一部統合することによって、消防団の活動に支障が出ないように考えている。再編の在り方について

ある。  
**問** 空き家対策条例が平成25年に制定されたが、それ以後の対応状況は。

**答** 現在までに、市民の方から364件の苦情・情報提供があり、その内65件の解体・取り壊しが完了している。

**問** 管理不全な空き家の所有者に指導・助言は行っているが、催告そして命令とさらなるアクションが必要では。

**答** 現在までに、催告等は行っていないが、再度点検を重ね、条例に則した段階を踏んでいきたい。

は、消防団が主体となって検討しており、来年の3月までの再編に向けて調整中である。  
**問** 消防団員の報酬や出勤手当は、国から地方交付税として算定されている額よりも、団員へ支給される額が下回っているようであるが、消防長はどのように考えているか。

**答** 国からは、1人当たり年間3万6500円を支給するよう示されているが、人口10万人当たり団員数の基準が少ないため、国から交付される額ではかなり不足しているのが現状である。

# 第3次総合計画

第3次総合計画基本構想を審議



姫路 敏議員

**問** 令和3年10月1日～21日まで、ホームページでパブリックコメントを募集したが、市民からの意見が一つもなかったことは大変残念な結果である。5年に一度の大事な総合計画であるので、このような計画は、村上商工会議所青年部やいわふね青年会議所

**答** これから検討をする。中期財政収支見通しについては公表していく。  
**問** 先に述べた団体には30歳代と若い方も多く、そこからの意見も聞いていただきたい。総合計画は今後、実施計画、財政計画と続いていくと思うが、そこではパブリックコメントは求めるのか。  
**答** 幅広く多くの方々に意見を求めていく仕組みを研究していく。



上村正朗議員

**問** 市民等に対する総合計画の周知方法は。  
**答** 概要版を作成し、ホームページや市報での周知を考えている。  
**問** 総合計画の進捗管理は。  
**答** 既存の進捗検討会議に策定審議会の委員を加えて進捗管理を行っていききたい。

**問** 実施計画と財政計画の策定期間は。  
**答** 実施計画は年度内に策定したい。財政計画については、中期財政収支見通しを策定中であり、公表していきたい。  
**問** 地域内分権や市民参加の観点が弱いのではないかと。  
**答** まちづくり協議会が市民参加の仕組みとして有効に機能していると考えている。  
**問** デジタル基本方針では個人情報保護の観点が弱いのではないかと。  
**答** 個人情報保護は当然のこととして重視していきたい。



長谷川孝議員

**問** 人口減少社会において、減少を食い止める政策が重要となるが、人口がある程度減るのは避けては通れないことだと思ふ。人口減少を食い止める政策を進める上で、住民の意識改革が重要ではないかと。  
**答** まさにそのとおりだと思ふ。人口が減少する社会では

あるが、そこはどう向き合い、持続するまちをつくるか、人口減少の仕方の部分であるが、本市は75歳以上の方を含めて減少となっている。人口減少していく社会の中での取り組みとして、U・J・ターソンを進めるとともに、本市のポテンシャルからワーケーション（※）型の企業誘致も効果的と考えている。また、高等教育機関との連携を進めており、若い世代が働きやすい環境づくりを進めていく。



佐藤重陽議員

**問** 本市の最上位計画であるが、最も求められる住民自治が基本構想から読み取れない。財政が厳しい中で公共施設の維持管理などはじめ、市民の理解と知恵を借りなくては進められない事業が多い。今後、基本計画・実施計画の中で住民自治がいかに大切か

ということを市民に訴えながら事業を進める必要がある。住民、行政、議会が一緒に進める本市の住民自治の在り方を模索すべきと考えるが。  
**答** 議員ご指摘の、市民の皆さまも主体的に取り組める行政運営が必要だと思っている。市の現状、データはこういう状況にあるということを見えやすく、見やすい環境をつくる取り組みをしていく。これからしっかりと基本構想、基本計画をベースにして市民の皆さまにお伝えしていきたい。

※「ワーケーション」とは？  
ワークとバケーションを組み合わせた造語で観光地やリゾート地で働く過ごし方。

# 市政を問う!!

11人が  
一般質問

12月2日・3日・6日の3日間の日程で行われた一般質問に11人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を質問順に掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

- |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>1</b> 姫路 敏議員 <b>5</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 衆議院議員総選挙の投票率について</li> <li>2. 保育園運営について</li> <li>3. 村上市の公共交通と過疎対策について</li> </ol> | <p><b>5</b> 稲葉久美子議員 <b>7</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種について</li> <li>2. 未就学児の国民健康保険税軽減について</li> <li>3. 要支援者への除排雪支援について</li> <li>4. CO<sub>2</sub>削減対策について</li> </ol> | <p><b>9</b> 富樫雅男議員 <b>9</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海釣り場の整備について</li> <li>2. ふるさと納税について</li> <li>3. 地域コミュニティづくりの推進について</li> </ol>                                       |
| <p><b>2</b> 上村正朗議員 <b>5</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活保護制度について</li> <li>2. 要支援世帯に係る除雪体制について</li> <li>3. 洋上風力発電事業について</li> </ol>     | <p><b>6</b> 菅井晋一議員 <b>7</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有害鳥獣対策について</li> <li>2. 行政組織について</li> <li>3. 移住・定住対策について</li> </ol>                                                                  | <p><b>10</b> 山田 勉議員 <b>9</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 旧香藝の郷美術館の利活用について</li> <li>2. 人口減少問題について</li> <li>3. 村上市堂の温泉施設について</li> <li>4. 荒川総合体育館の改修について</li> </ol>           |
| <p><b>3</b> 渡辺 昌議員 <b>6</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イノシシ被害の現状と今後の対策について</li> <li>2. 加齢性難聴者の現状と対策について</li> </ol>                     | <p><b>7</b> 木村貞雄議員 <b>8</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 屋内遊び場について</li> <li>2. 環境に優しいエネルギーについて</li> </ol>                                                                                    | <p><b>11</b> 本間善和議員 <b>10</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イノシシ捕獲後の処理問題について</li> <li>2. 山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」について</li> <li>3. 山北地区の公共交通について</li> <li>4. 山北分署の救急体制について</li> </ol> |
| <p><b>4</b> 川村敏晴議員 <b>6</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時の効果的な避難体制と情報発信について</li> <li>2. 指定管理者制度の在り方について</li> </ol>                    | <p><b>8</b> 長谷川孝議員 <b>8</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持続するまちの実現について</li> <li>2. 原油価格高騰による一次産業への支援策について</li> </ol>                                                                         |                                                                                                                                                                                              |

※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や、市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。



定例会一般質問事項  
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/gikai-info-ippanshitsuimon.html>

## 一般質問とは？

一般質問は、議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政について質問をしたりあるいは報告、説明を求めたりするものです。

定例会ごとに行われ、質問順は抽選で決定しています。

# ジャスプラで期日前投票を



姫路 敏 議員

**問** 令和3年10月31日投票の衆議院議員総選挙小選挙区における投票率は68.21%であった。昨年4月に実施された村上市議会議員一般選挙の59.76%よりも8.45ポイント上昇したが、その要因は。

**答** 昨年の村上市議会議員一般選挙では、日本国内に新型コロナウイルス感染症患者が蔓延し始めた時期であり、感染症に対する市民の不安が高まっていたために、投票率が低下したものと考えている。今回の衆議院議員総選挙においては、全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化する中、本市の新型コロナウイルスに対する2回目のワクチン接種率が65歳以上で約93%、65歳未満で約65%と、有権

者のワクチン接種が進んだことが、市民の投票行動に現れたものと考えている。

**問** 期日前投票が昨年1万701人であったが、今回は1万4169人と3468人増加した。今後の選挙においては、期日前投票の在り方が投票率のアップにつながると思う。そこで新発田市ではイオンモールを利用した期日前投票所が選挙期間中5日間ではあったが開設された。新発田市選挙管理委員会によると、多くの市民が期日前投票に訪れたと話している。昨年も提案したが、本市でもジャスプラと協力をして、期日前投票所を開設するべきだと思いがいかがか。

**答** 前向きに検討する。



投票率アップが期待される期日前投票所



専門性の向上に向け継続した取り組みが必要

**問** 生活保護ケースワーカーの増員が必要と考えるが。

**答** 生活保護申請の動向を見極め、適正な職員配置に努めたい。

**問** 生活保護業務の電算化を進めるべきでは。

**答** 業務を効率化できるシステムの導入を検討したい。

**問** 職員の専門性向上への方策は。

**答** 研修会や講演会等に積極的に参加している。また、令和4年度から専門職として社会福祉（ケースワーカー）職を採用するので、福祉職として求められる役割や専門性を明らかにし、経験年数や階層に応じた研

修や職場での実践を通じて業務知識を身に付けるOJTを活用した人材育成を進めていきたい。

**問** 生活保護の申請が国民の権利であることを積極的に周知すべきでは。

**答** 市報やホームページなどの活用その他、あらゆる機会を捉えて周知していきたい。

**問** 要支援世帯に係る除雪については、身近な地域における支え合いの仕組みづくりが重要だと考えるが。

**答** 身近な地域における支え合いの仕組みづくりが市内全域に広がるよう、自治会などに働きかけていく。

**問** 洋上風力発電事業への市民の多様な思いや意見を把握し、法定協議会の場等に反映していくべきでは。

**答** 近隣住民の生活環境や漁業への影響などについて、十分な調査や検証が行われることを要望していく。



上村正朗 議員

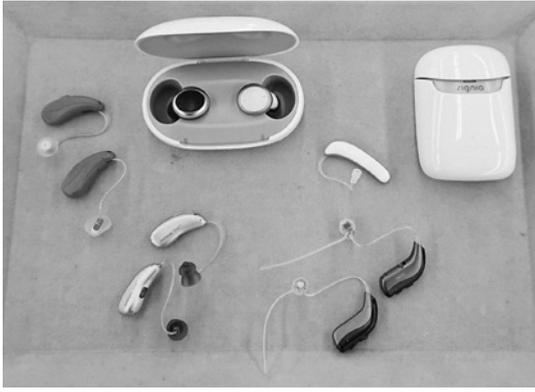
## 生活保護実施体制の充実を

# 補聴器購入へ助成制度を

**問** 超高齢社会となり、加齢性難聴者の増加が大きな社会問題となっている。市では、身体障がい者に該当しない軽度や中度の難聴の方の状況を把握しているか。

**答** 把握はしていないが、学会の難聴率の推計を参考にすると、本市では65歳以上74歳以下が1800人、75歳以上が4800人で、合わせて6600人程度と推測される。

**問** 本市議会では、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書を採用し、国に提出している。市においても、国や県に対し、同制度の創設を強く働きかけるべきと考えるが。



市内の眼鏡店で販売されている補聴器の一例



渡辺 昌 議員

**答** 加齢性難聴者も含めた、軽・中等度難聴者への支援制度については、新潟県市長会、全国市長会において、県や国に対して要望を行っているところである。

**問** 県内ではすでに5つの自治体で、身体障害者手帳の交付対象とならない程度の難聴の方に対し、補聴器購入費の助成を行っている。高齢化率の極めて高い本市では、難聴により日常生活に支障を来たす方の割合も高いと思われることから、補聴器購入費を助成する制度を検討すべきではないか。

**答** 補聴器は認知症やうつ病の予防に効果があるとする見解や、生活の質の向上にも寄与すると考えられていることから、軽・中等度難聴者への補聴器購入費助成について、制度設計を進めているところである。

# 防災活用のFM局設置を

**問** 地域コミュニティの情報発信のために地域おこし協力隊を採用し、空き家を利用して地域FM局を設置してはどうか。また、有事の際には地域防災の重要情報発信の拠点として利用できるのではないか。

**答** 災害時の効果的なメッセージの発信の仕方として、いろいろな方からの出資を募りながらローカル局が備わることは本市の強みにつながると思う。また、地域おこし協力隊、集落支援員、まちづくり団体等が垣根なく集まり、地域の身近な情報を発信でき、空き家の利活用にもなる。課題や収益を上げられる仕組み等を含めて、検証していく。

**問** 朝日きれい館など収益が上がらない施設の指定管



川村敏晴 議員



老朽化が進む朝日きれい館

理の在り方についてどう考えているか。

**答** 収益が上がらない施設についての問題は認識しているので、今後事業者が持続可能な運営をしていけるような仕組みの指定管理者制度であるべきだと考えている。

**問** 総合型地域スポーツクラブの職員が、生活面で将来展望が開けず退職する傾向がある現状についてどう考えているか。

**答** 生涯の職として選択されるためには、所得が増えて生活が成り立つ環境が必要であるが、これは総合型地域スポーツクラブの運営の中での話だと思っており、そこを根本的に見直さないと難しいと感じている。

# 国保税の減額対象拡大を



稲葉久美子 議員

**問** 令和4年度から未就学児の国民健康保険税均等割額の2分の1が、公費負担となるが対象世帯数は。また、18歳まで拡大した場合はどうか。

**答** 12月1日現在、対象世帯数は112世帯で、人数は143人である。18歳までに拡大した場合の対象世帯数は355世帯で、人数は594人である。

**問** 国民健康保険税均等割額の減額を、18歳までに拡大することはできないか。

**答** 4年度から第3次村上市総合計画が開始となるが、子育て支援をメインに掲げていきたいと考えている。重要な視点なので検討している。

**問** CO2削減対策で、ごみ袋の有料化やリサイクル

のために分別収集を行っているが、家庭から出るごみの量は減っているのか。

**答** 家庭から出るごみは、資源ごみの分別収集の取り組みや人口減少していることなどから、年々減少している。今後も、ごみの減量や資源化を推進し、焼却処理量の減少によるCO2削減に努めていく。

**問** 太陽光発電設備の設置への取り組みは。

**答** 耕作不能な農地への太陽光発電設備の設置は、荒廃農地の利活用としても有効な手段の一つである。二一ズや採算性などの課題を整理しながら検討していく。また、設置可能な公共施設等への導入についても検討していく。



休耕地へ太陽光発電パネル設置を



ジビエ肉の加工処理施設先進事例(糸魚川市)を視察

**問** 過去3カ年のイノシシ捕獲数は。

**答** 令和元年は9頭、2年は82頭、3年は11月20日現在で88頭である。

**問** 甚大な被害をもたらすイノシシの捕獲には大変苦慮しているが、捕獲助成金は、サルよりも低く1頭当たり7千円である。大幅な増額はできないか。

**答** 捕獲頭数が増加傾向にあり、埋設処分に係る捕獲従事者の負担が大きき課題となっている。捕獲活動経費の上乗せは、捕獲意欲の向上や啓発につながる有効な手段であり、国の交付金等を活用した捕獲個体の処分に係る支援と併せ、補助制度の創

設など研究を進める。

**問** イノシシ被害への重点対策は。

**答** 電気柵設置等による「防除」、集落環境診断やワークシヨップ開催などの「環境整備」、くくり罠などによる「捕獲」を重点に取り組んでいる。また、山とほ場との緩衝帯の整備も非常に有効であり、国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した総合的な取り組みを実施している。

**問** 捕獲したイノシシの処理手法も大きな課題で、ジビエ肉として地域資源にしようと食肉加工事業の研究を立ち上げた。激増するイノシシの処理には埋設だけでは限界があるが対策は。

**答** ジビエとしての活用事業化の研究とともに、今後は市内の既設の公施設での焼却なども含め検討する。



菅井晋一 議員

## 捕獲イノシシを地域資源に

# 利用しやすい屋内遊び場を



屋内でも充実した遊び場を

**問** 今年度の施政方針に、市民から要望の大きい、屋内で親子が遊べる施設を、旧神納東小学校に設置する準備を進めるとあるが、進捗状況は。

**答** 本年10月1日に、児童福祉施設として建築基準法における用途変更の許可を受けたところである。現在は、遊具の選定作業を実施しており、令和4年4月1日の開設に向け作業を進めている。

**問** 避難所に指定されているが、遊具の設置に支障はないか。

**答** 避難スペースの確保に支障を来すことがないよう可動型の遊具を設置することになっている。



木村貞雄 議員

**問** 利用者のニーズ調査等は行っているか。

**答** 遊具の選定には、これまで子育て支援事業に深く関わっている総合地域スポーツクラブや子育て支援センターから意見をいただき進めている。なお、単年度で整備を終えるものではなく、屋内遊び場を開設後、利用者アンケートを実施しながら、利用しやすい屋内遊び場として、さらなる充実を図っていく。

**問** 維持管理の方法は。

**答** スタートとなる4年度は直営で運営していくが、窓口業務や清掃業務など一部の業務は、民間へ委託することを検討している。翌年度以降は、校舎棟の有効利用と合わせ、より質の高いサービスの提供につながるよう、指定管理者制度の導入も含めて検討していく。

## 持続するまちに向けて



長谷川孝 議員

**問** 令和4年度から始まる第3次村上市総合計画では、あふれる笑顔のまち村上市を将来像とし、全ての人が幸せに暮らすまち・幸せや元気が沸き立つようにあふれるまちを目指すところ。持続するまちの実現のために、人々のつながりによる地域の小さな経済の形成、それによるサプライチェーンの取り組みができないか提案する。

里山の再生による太陽光発電の設置・その収益を活用した地域の仕事づくりを通して脱炭素社会に貢献する仕組みづくりを考えたい。進事例もある。

道の駅朝日リニューアルを契機に商品1点につき1円を負担していただき、森林整備の原資に充て、道の



リニューアルを契機に持続するまちの情報発信を

駅運営から生じる電力使用量等に伴うCO2排出量を相殺する試みも必要である。将来はきれいな館・まほろば温泉を新ボイラーによる地域産材の活用も含めた林業の新しいサプライチェーン形成と、本市の脱炭素社会の推進に向けた情報発信地にできないか。

**答** 非常に良い発想だと思う。紹介いただいた長野県での太陽光発電の初期投資が1300万円であるが、年間収益が160万円であり、10年経過をすれば投資額を超える。こういった可視化できる目標を立てることが重要である。道の駅朝日についても取り組めるように、その方向で検討していく。

# ふるさと納税の拡充を



富樫雅男議員

**問** 昨年度のふるさと村上応援寄附金は約3億5千万円の実績だったが、今年度の見込み額は。

**答** 約4億円を見込んでいます。

**問** 県内他市の実績を確認すると、胎内市が昨年度は12億円で、2年で20倍と大幅に増えているが、理由を把握しているか。

**答** 把握していない。

**問** 寄附金の使い方希望は、この2〜3年で大きく変化しており、将来を担う人材の育成を希望する人が大幅に増えているが、どのように分析しているか。

**答** 人口減少社会で先行きがなかなか見通せない中で、国民の意識として、将来を担う人材を育ててほしいという気持ちが強くなっている

ると分析している。

**問** ふるさと納税業務の担当課が行政組織の見直しにより、企画財政課から観光課に移される予定だが理由を伺う。

**答** 観光課は、返礼品の担い手である越後村上物産会とのつながりがあり、関係・交流人口の拠点となる道の駅朝日の所管課でもあることから、総合的に考えて決断したものである。

**問** 海釣り場の整備について伺う。

**答** 現在は市内の県管理、市管理漁港施設で釣りが許可されている場所はないが、漁業者と釣り客が共存できないか検討しており、まずは岩船港での実証を進めていきたいと考えている。



公共釣り場として期待の岩船港



村上市の文化財に指定されている船絵馬(八坂神社)

**問** 年齢などの一定の要件を満たした方へ支援金を給付し、本市への移住を促進することを目的とする村上U・ーターン促進支援金の成果は。

**答** 令和3年11月30日現在の移住者の内訳は、10歳代未満3人、20歳代6人、30歳代2人、40歳代2人、50歳代1人の計14人であり、年代層から見ても若年層のU・ーターン促進に成果があったと考えている。

**問** 村上市営の温泉施設の料金が異なっている理由は。

**答** 施設ごとの目的や規模、利用形態が異なるため、同一の料金設定となっていない。

**問** 荒川総合体育館の改修は。

**答** 耐震補強工事と合わせ、老朽化等に対応する改修も考えているため、来年度には、関係団体等との事業化に向けた調整協議を進めたい。

**問** 文化庁の日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に出雲崎町が追加認定されたが、本市も荒川地区の海老江、神林地区の塩谷、村上地区の瀬波も北前船寄港地として知られている。旧香藝の郷美術館を北前船資料館として活用できないか。

**答** 本市には、北前船の寄港地として栄えた港町の歴史があり、当時をしのばせる建造物やさまざまな資料がある。北前船に関する資料は、ほとんどが個人の所有であると認識しているが、貴重な資料をお借りし、施設に展示する企画展を催すことは可能であると考えている。

# 北前船資料館として活用を



山田 勉議員

# イノシシ捕獲者への支援は



くくり罠で捕獲されたイノシシ

**問** イノシシの捕獲活動支援として、1頭当たり7千円を支給しているが、捕獲資材の購入費等を考慮し、増額すべきではないか。

**答** 対策に当たる方のコスト面も含めて検討していく。

**問** 捕獲後の処理方法の把握は。

**答** 市に提出される捕獲報告書により、処理方法を把握できるように記載項目を設ける対応をしたい。

**問** 捕獲後の焼却処理について、市で検討できないか。

**答** ジビエ事業としての在り方や、全て焼却処理になるのかなどを含め支援について検討していく。



本間善和 議員

**問** 山北地区においては、タクシー事業者が廃業となり、路線バスや鉄道がない集落住民の生活の足を確保することに大変苦慮している。持続可能な公共交通計画を検討中だと思いが、現時点での考えは。

**答** 山北地域をモデルケースとしたスクールバスへの住民混乗事業の実証運行に向け準備を進めている。今後、対象となるさんぼく小学校および山北中学校の保護者への説明や区長会、対象集落への説明を行う予定である。また、今後の取り組みとして、既存の交通資源の有効活用も含めた、地域の地理的特性や住民ニーズに合った効果的な移動手段を確保するため、住民へのヒアリング調査や交通事業者との協議を進めるとともに、持続可能な公共交通の在り方を研究していく。

## 行政視察受け入れ状況

村上市議会では他議会からの行政視察の受け入れを行っており、令和3年中は次のとおりでした。

月 日	議 会	視 察 内 容
11月16日	北海道音更町議会	村上市スケートパークについて
11月17日	東京都荒川区議会	自治体間連携による脱炭素への取り組みについて
12月21日	東京都北区議会	村上市スケートパークについて

## 議会中継は パソコン・スマートフォンで

村上市議会では、インターネットで議会中継の動画配信を行っています。

本会議当日は生中継、録画中継は、本会議終了後概ね5日後（土、日曜日、祝日を除く）からご覧いただくことができます。

ご家庭などでお気軽にご覧ください。



村上市 議会中継  
<https://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/gikai-chukei.html>



# 委員会の審査報告

○は委員長  
○は副委員長

## 総務文教

○小杉武仁 ○河村幸雄  
渡辺 昌 木村貞雄  
本間善和 高田 晃  
佐藤重陽

◆村上市行政組織条例の一部を改正する条例制定について

**問** 行政組織の見直しにより、企画戦略課が設置されるが、国のデジタル政策に対応するための業務内容は、

**答** デジタルトランスフォーメーション推進方針を作成中であり、国の標準化の方針により、17業務を令和7年度までに進める。それに伴うオンライン化や地域のデジタル化については、技術革新に対応するために必要な業務を進める。

**問** 本庁の自治振興課が廃止されるが、これまで同課が担当してきた業務は、今後どの課が行うのか。

**答** 公共交通は企画部門と切



行政組織が見直される村上市(お城山から本庁舎を望む)

# 重伝建地区の選定に向けて

制定について

り離せないので企画戦略課へ。空き家対策業務に関しては自治振興室そのものを市民課へ移すことで一体的にできると捉えており、まちづくり協議会についても自治振興室の所管であるが、総合的に判断し、市民課の所管とした。

◆村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

**問** 行政職給料表に「政策監の職務」を加える改正であるが、他自治体では副市長としての起用も確認できる。政策監は市長・副市長の補佐役という考え方でいいのか。

**答** 市長、副市長の補佐役として政策監を給料表に加えるものである。

**問** 本市に政策監が初めて就任することになるが、職員のスキルアップにつながる機会

例であるが、指定区域のメリット・デメリットや住民に対する説明等はどうなるのか。

**答** 重伝建地区(※)に選定されると、建物外観部分に規制がかかるが、改修については国から補助金を受けることも可能となる。建物内部については規制されないが、個人の権利に制約をかけることから慎重に進め、補助内容を含めて丁寧に住民説明をしていきたい。

となるようにすべきでは。

**答** 絶対の機会と捉えている。担当課だけで済む仕事は限られており、企画立案する議論を通して、企画戦略課と政策監、市長、副市長のアイデアを総合して進めていく。連携しながら職員にもスキルアップにつながるような活躍を期待している。

◆村上市伝統的建造物群保存地区保存条例制定について

**問** 都市計画に定める伝統的建造物群保存地区に関し、現状変更の規制などを定める条

### 3年度一般会計補正予算

【歳入】

・寄附金

**問** ふるさと納税に関して、胎内市など他自治体の寄附額が大幅に伸びていることに對

する分析はしているのか。

**答** 返礼品の中で米の伸び率が相当あったと伺っている。通年で米を送るなどの対応も見受けられ、インターネットの画像等の工夫も確認しているが、他市の実績も参考にし、今後本市でも寄附額を伸ばしていきたい。

【歳出】

・教育費

**問** 山北中学校体育館の水滴落下対策工事の現状は。

**答** 学校の大きな行事が終わってからになるが、冬休み期間中に工事の実施を予定している。

### 3年度特別会計補正予算

- ◆土地取得特別会計
- ◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。

※「重伝建地区」とは、

重要伝統的建造物群保存地区の略語で、城下町や宿場町などの歴史的な町並みを保存するために市町村が決定した地区の中から、文部科学大臣が、我が国にとって価値が高いと判断した地区。

# 市民厚生

◎長谷川孝 ○鈴木一之  
鈴木好彦 上村正朗  
富樫雅男 稲葉久美子  
鈴木いせ子

◆村上市過疎地域の持続的発展のための固定資産税の課税の特例に関する条例制定について

問 この時期に条例制定となつた理由は。

答 令和3年4月1日に特別措置法の改正があつたが、事務の始点が延びてしまつた。この間に相談等はなかつたが、早急に施行することとしたものでご理解をいただきたい。

問 一定の条件に該当した方に係る固定資産税の課税免除を定めたものだが、農業施設等の車庫を建設した場合も該当するののか。

答 農林水産物等販売業であれば、個人、法人を問わず該当する。

◆村上市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

問 出産費用が平均で49万円くらい掛かると思うが、現行の出産育児一時金の支給総額42万円と比較すると7万円くらい下の差がある。今回の改正では、出産育児一時金を4千円増額する内容であるが、生活が苦しく支払いに苦労しているという声も聞いているので、今後、出産育児一時金と出産費用の格差を縮める検討はできないか。

答 2年度の支給実績14件のうち8件が、出産育児一時金の42万円を超えている。市独自の給付となると、税額に反映する制度となることもあり、国の改正政令に基づき条例改正するものである。今後、県で保険料率の統一も考えられることから、県全体の中で検討するべきものではないかと考えており、市としても研究していく。

## 着実な保育士採用計画

サービスセンター「きわなみ荘」、デイサービスセンター「新きわなみ荘」、さわらびセンター、デイサービス長津、デイサービスセンター「ゆり花荘」

問 公共施設マネジメントプログラムでは、山辺里デイサービスセンター等の施設は、事業者へ建物譲渡による民営化について検討するところがあるが、いつ頃までに結論を出すのか。

答 5年間の指定管理期間内に答えが出せるように協議を進めていきたい。

3年度 一般会計補正予算

【歳出】

・民生費

問 大雨の影響で第二保育園の入口が水浸しになつたが、具体的な改善策は。

答 排水路に詰まった土砂の除去を考えている。修繕料の補正予算可決後、今年度中に工事を発注したい。

問 保育園待機児童の解消が進んでいないが、具体的な取



第二保育園(庄内町地内)

り組みはあるのか。  
答 市長から採用計画をあらためて立て、保育士不足を解消していくように指示があつた。特に未満児保育の待機児童解消に向けて取り組んでいく。

問 生活保護世帯が2年度より10世帯増え、490世帯とのことだが、今後、高齢者の低年金により生活保護受給者が増えていくように思うが、どのように考えているか。

3年度 特別会計決算

◆介護保険特別会計

問 3年8月に制度改正があり、負担限度額の認定要件が変更になつたが、その影響は。

答 要件が変わつたことで、負担限度額の認定者数は、20人程度少なくなつている。また、負担限度額認定に伴つて特定入所者介護サービス費についても、8月以降減少しており、昨年度の月平均と比較すると、市の支出は月100万円程度減つている。

◆国民健康保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計

以上を中心に審査しました。

# 経済建設

◎川崎健二 ○川村敏晴  
姫路 敏 山田 勉  
大滝国吉 菅井晋一  
尾形修平

## ◆桃崎人道橋補修工事委託に

関する協定の締結について  
**問** 昭和47年に建設された桃崎人道橋の老朽化による補修工事であるが、利用されている方の人数は。

**答** 令和元年6月5日の午前6時～8時30分までの朝の通勤、通学時間帯に歩行者の通行量調査を実施した結果は76人である。日中や帰宅時間帯の利用者を想定し150～200人が利用していると考えている。

**問** 工事費概算額調査はJRで積算したものとのことだが、第三者がチェックする仕組みはあるか。

**答** 国とJR各社には、公共事業における鉄道委託工事を行う場合の透明性の確保についての申し合わせがある。その中で、鉄道工事に係る国土交通省と鉄道事業者との調整

会議が設けられ、積算の基準やJR側の工事の発注方式などが調整会議の議題となっている。こういった点から透明性の確保が図られていると考えている。

**問** 工事に関しての瑕疵担保責任はどのような契約になっているか。

**答** 協定書にはうたっていないが、工事を委託するということは管理も含め、瑕疵担保責任については、JR側にあると考えている。

## 指定管理

### ◆公の施設に係る指定管理者の指定について（イヨボヤ

会館、イヨボヤ会館駐車場、イヨボヤ会館公衆便所、三面川休憩所、村上市鮭公園）

**問** 市が積算した総合型地域スポーツクラブの人員費は5年間間額であるが、イヨボヤの里開発公社の人員費については、年々ベースアップしている。どちらも指定管理であるが、取り扱いに違いがある



老朽化が進んでいる桃崎人道橋(藤沢地内)

## 人件費算定基準は

理由は。

**答** イヨボヤの里開発公社は、市が出資した法人であるため、市の一般職に準じた給料表を使っている。定期昇給分も見込んでいるため、年々上昇する形となっている。

**問** 指定期間が5年間であるが、指定管理者制度の見直しが行われた場合は、中途の契約変更は可能か。

**答** 契約期間をいったん終了し、新たな考え方に基づいて契約を仕直すことなどを含め検討していく。

### 3年度 一般会計補正予算

#### 〔歳入〕

・県支出金

**問** 経営転換協力金は、農地中間管理機構に農地を貸し付けた農業者が、農業をリタイアする場合などに給付されるものだが、件数は。

**答** 51件で面積は80・96ヘクタールである。

**問** 貸し手はいるが、借り手がない場合もあると思うが。

**答** マッチングに苦労する場所もあるが、耕作放棄地とならないように借り手を探す努力をしている。

#### 〔歳出〕

・土木費

**問** 除雪費について、除雪業者の撤退やオペレーターの高齢化などで人手不足が問題となっているが、本市の状況は。

**答** 今のところ、なんとか対応しているが、オペレーターの確保は課題である。今後は国・県とオペレーターの確保方法について協議していかな

ければならないと考えている。  
**問** 少雪時にも除雪業者が人員確保できるような手当ての仕組みはできないか。

**答** 県の積算資料を使っており、まったく降らなかったときのための待機料などが設けられているため、一定の額が保障される仕組みである。

**問** 消雪パイプの新設はできないのか。

**答** 旧村上市の海岸部については、河床下がった影響なのか塩水化が始まっており、井戸水をくみ上げるのが厳しい状況である。また、旧村上市街地全体で地下水位が下がっている傾向にあり、揚水量が確保できない状態のため、水の出が悪いと苦情をいただいているところであり、消雪パイプの新設は非常に厳しいと考えている。

### ◆指定管理者の指定 5件

### 3年度 事業会計補正予算

#### ◆上水道事業会計

#### ◆簡易水道事業会計

#### ◆下水道事業会計

以上を中心に審査しました。

# 令和3年第4回定例会 議決結果

3年第4回定例会が、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催され、市長側提案47件、議会側提案の議員発議1件を議決し、閉会しました。

## 議案審議結果

議案番号	事 件 名	結 果	表 決	議案番号	事 件 名	結 果	表 決
議員発議第9号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第131号	公の施設に係る指定管理者の指定について(縄文の里・朝日)	原案可決	全会一致
議第110号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(伊與部久子氏：再任)	原案同意	全会一致	議第132号	村上市過疎地域の持続的発展のための固定資産税の課税の特例に関する条例制定について	原案可決	全会一致
議第111号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(渡辺幸雄氏：再任)	原案同意	全会一致	議第133号	村上市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第112号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(中山光市氏：新任)	原案同意	全会一致	議第134号	公の施設に係る指定管理者の指定について(山辺里デイサービスセンター、デイサービスセンター「きわなみ荘」、デイサービスセンター「新きわなみ荘」、さわらびセンター、デイサービス長津、デイサービスセンター「ゆり花荘」)	原案可決	全会一致
議第113号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(片野佐喜子氏：新任)	原案同意	全会一致	議第135号	桃崎人道橋補修工事委託に関する協定の締結について	原案可決	全会一致
議第114号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(佐藤美喜子氏：新任)	原案同意	全会一致	議第136号	公の施設に係る指定管理者の指定について(イヨボヤ会館、イヨボヤ会館駐車場、イヨボヤ会館公衆便所、三面川休憩所、村上市鮭公園)	原案可決	全会一致
議第115号	第3次村上市総合計画基本構想の策定について	原案可決	全会一致	議第137号	公の施設に係る指定管理者の指定について(神林有機資源リサイクルセンター)	原案可決	全会一致
議第116号	村上市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第138号	公の施設に係る指定管理者の指定について(朝日有機センター)	原案可決	全会一致
議第117号	村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第139号	公の施設に係る指定管理者の指定について(村上市勤労者総合福祉センター)	原案可決	全会一致
議第118号	村上市職員の給与に関する条例及び村上市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数	議第140号	公の施設に係る指定管理者の指定について(村上市民ふれあいセンター)	原案可決	全会一致
議第119号	村上市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第141号	公の施設に係る指定管理者の指定について(村上市宮あらかわゴルフ場)	原案可決	全会一致
議第120号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第142号	令和3年度村上市一般会計補正予算(第13号)	原案可決	全会一致
議第121号	村上市さんばく会館条例制定について	原案可決	全会一致	議第143号	令和3年度村上市土地取得特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第122号	村上市体育施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第144号	令和3年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第123号	村上市伝統的建造物群保存地区保存条例制定について	原案可決	全会一致	議第145号	令和3年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第124号	村上市伝統的建造物群保存地区保存活用審議会条例制定について	原案可決	全会一致	議第146号	令和3年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第125号	公の施設に係る指定管理者の指定について(村上体育館、村上球場、山辺里グラウンド、村上市弓道場、山辺里体育館、山辺里第二体育館、門前体育館・グラウンド、上海府体育館、岩船運動広場、村上多目的グラウンド、三面川東河川公園)	原案可決	全会一致	議第147号	令和3年度村上市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第126号	公の施設に係る指定管理者の指定について(荒川総合体育館、荒川球場、荒川テニスコート、荒川多目的グラウンド、荒川ゲートボール場、グリーンパークあらかわ総合運動公園)	原案可決	全会一致	議第148号	令和3年度村上市上水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第127号	公の施設に係る指定管理者の指定について(神林総合体育館、神林球場、神林多目的グラウンド、北新保ゲートボール場、神林プール、西神納体育館、神納体育館、平林体育館、バルパーク神林総合運動公園)	原案可決	全会一致	議第149号	令和3年度村上市簡易水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第128号	公の施設に係る指定管理者の指定について(朝日総合体育館、朝日球場、朝日多目的グラウンド、朝日ゲートボール場、長津体育館・グラウンド、高根体育館・グラウンド、朝日山村広場)	原案可決	全会一致	議第150号	令和3年度村上市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第129号	公の施設に係る指定管理者の指定について(山北総合体育館、山北球場、山北テニスコート、山北多目的グラウンド、山北ふるさと広場、山北ピクニック広場、山北児童遊園広場、山北サイクリングロード)	原案可決	全会一致	議第151号	令和3年度村上市一般会計補正予算(第14号)	原案可決	全会一致
議第130号	公の施設に係る指定管理者の指定について(村上市郷土資料館、村上市三の丸記念館、重要文化財若林家住宅及びその敷地、旧成田家住宅、旧岩間家住宅、旧高岡家住宅、旧藤井家住宅、村上歴史文化館、記念公園)	原案可決	全会一致	議第152号	令和3年度村上市一般会計補正予算(第15号)	原案可決	全会一致
				議第153号	令和3年度村上市一般会計補正予算(第16号)	原案可決	全会一致

\*網掛けの議案は次ページに掲載しています。

**各議員の賛否** 議案審議結果のうち、賛否が分かれた網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 \*：会派の経理責任者

議案番号	鷲ヶ巣会				市声クラブ				清流会			高志会			新政村上		令和新風会						賛否結果	
	◎ 大滝国吉	* 鈴木いせ子	河村幸雄	菅井晋一	◎ 木村貞雄	* 姫路敏	山田勉	本間善和	◎ 川崎健二	* 鈴木好彦	※1 三田敏秋	◎ 尾形修平	* 小杉武仁	鈴木一之	◎ 長谷川孝	* 佐藤重陽	◎ 川村敏晴	* 高田晃	渡辺昌	稲葉久美子	富樫雅男	上村正朗	賛成	反対
議第118号	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	17	4

※1 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。

**意見書**

**●北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書**

上記の意見書が第4回定例会で可決され、関係行政庁に送付されました。

**人権擁護委員が決まりました**

次の方が議会で同意されました。（任期：令和4年4月1日～7年3月31日）



いよべひこ  
**伊與部久子氏** (神林地区・再任)



わたなべさちお  
**渡辺幸雄氏** (山北地区・再任)



なかやまこういち  
**中山光市氏** (村上地区・新任)



かたのさきこ  
**片野佐喜子氏** (村上地区・新任)



さとうみきこ  
**佐藤美喜子氏** (村上地区・新任)

人権擁護委員は、人権擁護委員法の規定により、市長の推薦、市議会の同意を経て法務大臣から委嘱されています。法務局と連携して主に次の活動を行っています。

- ・ 人権相談を受け、問題解決のお手伝いをする。
- ・ 人権侵害による被害者を救済する。
- ・ 地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行う。

## 荒川高校で主権者教育

11月17日(水)  
県立荒川高等学校

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年は中止としていた高校生との懇談会を1年ぶりに開催することができました。

学校では10月27日、出前講座により「市議会の役割としくみ」について事前学習を行い、まちづくりのアイデアを考える時間を設け本番に備えました。当日は、3、4年生45名と尾形修平議会運営委員長、高田晃同副委員長がさまざまな角度から有意義な懇談ができました。

冒頭、校長先生から、本懇談会の趣旨説明が行われた後、事前に通知されていた10項目の質問について、尾形、高田議員が回答するという形式で進みました。

都市開発や公共交通機関の充実など、市政へ反映できる良いアイデア

### 【若者の目線から見た多種多様な意見・要望】

- ・大型商業施設（映画館や娯楽施設） 開発や飲食店やコンビニの増加の要望
- ・駅前開発や街中（大町商店街）の活性化についての提案
- ・バスや電車の増便など、公共交通機関の充実についての要望
- ・高齢者に優しい施設や安全なまちづくりの提言
- ・無料のドッグランの整備



高校生との意見交換

（議会運営委員会

副委員長 高田 晃

をいただきました。

終わりに、生徒会長から「これを機会に政治に関心を持つていきたい」とあいさつがありました。

地元就職率9割を占める荒川高校。「金の卵を大切にしていきたい」と強く感じました。

## 日沿道の工事進捗

11月19日(金)  
朝日温海道路工事現場

高速交通等対策特別委員会では、日本海沿岸東北自動車道（日沿道）の早期開通を推進するため、朝日温海道路の工事進捗状況について調査を行いました。

当日は、朝日温海道路相談室にて国土交通省の担当者から工事概要の説明を受けてから、トンネル工事を中心に現場の状況を視察しました。

**朝日温海道路とは**

朝日温海道路は「朝日まほろばIC」から「あつみ温泉IC」に至る延長40・8kmの自動車専用道路で、そのうち新潟県側は34・1kmの延長があります。新潟県側には13本のトンネルが計画されており、仮称「大須戸第二IC」から山形県境までは、トンネルの区間が多くなります。

### 掘削した土を盛土に活用

「朝日まほろばIC」から仮称「大須戸第二IC」までの区間は、トンネル等の掘削土を利用した盛土区間となります。そのため、トンネル工事がある程度進まなければ盛土の材料が確保できず、トンネル工事の進捗が今後の工程上大変重要となります。

### 着々と進むトンネル掘削

トンネルは新潟県側から山形県境に向けて順に1号から13号まで番号が付されており、そのうち大須戸地内の1号トンネルは昨年度貫通し、続く2号トンネルは、来年度の掘削に向けて準備作業を行っています。また、4号トンネルと11号トンネルは掘削が進められていて、9号トンネルも着工に向けて着々と準備が整いつつある状況を確認することができました。

当委員会では今後も定期的に活動を行い、一日も早い全線開通に向けて取り組みを推進していきます。

（高速交通等対策特別委員会

副委員長 大滝国吉



掘削が進められている4号トンネルを視察

「議員の視点で」  
まちづくり推進へ意見交換

12月20日

村上市教育情報センター



グループに分かれ意見交換

本市を含む広域圏の地域づくりを支援するNPO法人都岐沙羅パートナーズセンターの主催で、本市と関川村の議員による「これからのまちづくり意見交換会」が開催されました。

まちづくりは転換期に

会の前半は、本市のまちづくり協議会や関川村の地域コミュニティの取り組み、地域おこし協力隊や集落支援員の有効性、将来を見据えた分野横断や官民の役割分担等の動向な

ど、都岐沙羅パートナーズセンターから説明がありました。

その中で、まちづくり協議会（まち協）は活動団体から事業組織となるための転換期に来ており、事業内容、組織体制、運営資金等のアップデート（更新）が必要であることや、地域密着型の支援を行う集落支援員の増員・拡充も不可欠であるとの認識でした。

さまざまな意見を共有

後半ではそれぞれグループに分かれ、議員同士でざつくばらんに意見交換を行いました。まち協については、行政依存型ではない組織への体質改善、拠点の整備が必要との意見のほか、事業に取り組むためのファンドの活用、事業型への転換を図るために合併も検討すべきとの提案などがありました。

そのほか、市外からの企業誘致だけでなく地元企業の振興や育成の重要性や、人口減少・担い手不足をしっかりと地域で考えていくことの必要性についても意見がありました。最後に、さまざまな意見を共有するため、グループごとにまとめを発表して意見交換会を終了しました。

（議会広報特別委員会 渡辺 昌）

市議会あれこれ

(2)

「村上市議会の手引書」より

村上市議会では、議会の取り組みを市民の皆さんにお知らせし、議会を身近に感じていただくため、「村上市議会の手引書」を作成し、ホームページ上に掲載しています。

議会だけでなく手引書を基に、市議会についてわかりやすく紹介します。

●議員は何人いるの？

22人です。議員の人数（定数）は条例で決められており、表1のように推移しています。

男女別では、男性が20人、女性が2人です。年代別では、50代が4人、60代が12人、70代が6人で、40代以下の議員はいません。平均年齢は65歳で、全国平均の59歳より高くなっています。

●議員は報酬（給料）をいくらもらっているの？

1カ月分の報酬は、表2のとおりです。また、報酬のほかに、年2回期末手当（3カ月相当）が支給されます。

●議員にも定年や退職金があるの？

定年はありません。また、議員を辞めても退職金はありません。

表1 議員定数の推移

	平成20年4月～	平成24年4月～	令和2年4月～
定数	30人	26人	22人
人口※	70,019人	66,613人	58,827人

※各年4月1日現在の人口

表2 各市の議員報酬 (単位：円)

市名	人口	議長	副議長	議員
村上市	58,238人	359,000	295,000	273,000
南魚沼市	55,354人	392,000	322,000	305,000
佐渡市	53,049人	347,900	285,100	268,200
十日町市	51,125人	392,000	316,000	300,000

※人口規模が5万人台の市を比較（令和2年12月31日現在）

●議員は、退職後に議員年金をもらえるの？  
以前には議員年金制度がありましたが、平成23年6月に廃止となりました。制度廃止以降に新たに議員となった人には議員年金はありませんが、現職議員のうち、平成23年6月1日時点で議員であった人には、退職一時金または退職年金のいずれかが支給されています。

市議会では定例会中の活動のほか、各委員会が自主的にその委員会が所管する事務について調査する「所管事務調査」を行っており、定例会が開かれていない閉会中の調査については、閉会中事務調査とも呼ばれます。

委員会ごとに調査事項を決めて、市政における課題の把握や、その解決に向けて調査を行い、市長等の執行機関に対し具体的な政策や施策を提案するものです。

**総務文教**

**遠隔地を結ぶ交流授業も**

当委員会では、村上南小学校と村上第一中学校のG・I・G Aスクール構想の現況について、活用状況の見学と意見交換を行いました。

**村上南小学校では**

令和2年度より事業が開始されたことに併せ、モバイルWi-Fiの設置も完了しました。職員は、ICTの利活用研修および端末を活用した実習を進めながら、大型掲示装置も設置したことにより、充実した学習状況を確認でき

ました。タブレットを活用した遠隔交流事業により、大学生や地域の外部の方とのオンライン交流も進められ、子どもたちの視野を広げる良い機会と感じました。

**村上第一中学校では**

4月からタブレット端末の活用を始め、8月からは大型掲示装置も導入されました。予習復習の学習のため、夏休みから家庭への持ち帰りを実施、不安もあったが便利さを実感しているとのことでした。登校できない生徒にオンラインで授業を行ったり、合唱の練習に動画配信を活用したり、効果は随所に見られ、現在は「なれる」「つながらる」を意識して指導しているとのことでした。教員のICTスキルによつて、児童生徒に教育格差が生じないよう、研修の開催や情報交換を実施するなど、指導や助言をする機会を増やして実践研修を進めているとのことでした。

**市民厚生**

**地域住民と行政の懸け橋**

当委員会では、民生委員の実情について、福祉課への聞き取り調査を行いました。

**選任方法は**

民生委員・児童委員および主任児童委員は、「社会奉仕の精神を持つて、地域社会の実情に通じ、福祉の増進に熱意がある者の中から選任され、厚生労働大臣の委嘱を受けた方々」であり、区長等から民生委員・児童委員の推薦をいただいています。

**欠員補充の対応は**

現在の欠員状況と欠員補充のための対応と対策については、令和3年11月1日現在、村上地区で6人、荒川地区で4人、神林地区で4人が欠員となっており、欠員補充については、区長等に連絡し推薦者を出していただけるよう文書や電話でお願いをしているとのことでした。

**活動状況は**

民生委員は、低所得者の自立更生への援護、高齢者、身体障がい者、児童、母子等の

福祉の向上および関係行政機関の業務に協力するとともに、地域住民と行政の懸け橋となつて活躍しており、地域福祉の向上に取り組むボランティアとして活動しています。地域に根差した社会的使命と、職務の重要性に対して敬意を表すとともに、懸案事項でもある欠員補充の必要性を感じました。



タブレット端末を活用した授業



民生委員の実情について聞き取り調査

**務調査**

# 市民の意見を政策につなげるために 常任委員会の所管事

経済建設

## 市営中川原住宅の今後は

当委員会では、市営中川原住宅に対する今後の取り組み方針について、都市計画課へ聞き取り調査を行いました。

### 建て替え事業の現状は

村上市公営住宅等長寿命化計画の中で、建て替え対象団地と判定し、平成28年に入居者の皆さんに新規入居募集停止と令和3年度から事業着手する予定であることをお知らせしました。しかし、事業着手が遅れる中で、公共施設マネジメントプログラム等で、建て替えて良いのかとの意見を受け、現在は入居者の皆さんに事業停止のお詫びと住み替えの意向のある方には、市が対応していくことをお伝えしているとのことでした。

### 空き家活用の検討も

市内アパートの部屋を公営住宅として、市で借り上げることを検討しており、宅建協会へアンケートを実施しているとのことでした。委員からは、市内に多数発生している空き家の活用を検討すべ

きとの意見がありました。しっかりとした方向性を

建て替えには膨大な経費が必要となりますが、建て替え、既存建物の解体費用、入居者の引っ越し費用に対しては2分の1補助があることを県に確認してあるとのことでした。委員会では、行政側にしっかりとした方向性を持ち、入居者へは丁寧な説明と理解を得ることを要請しました。



中川原住宅について聞き取り調査

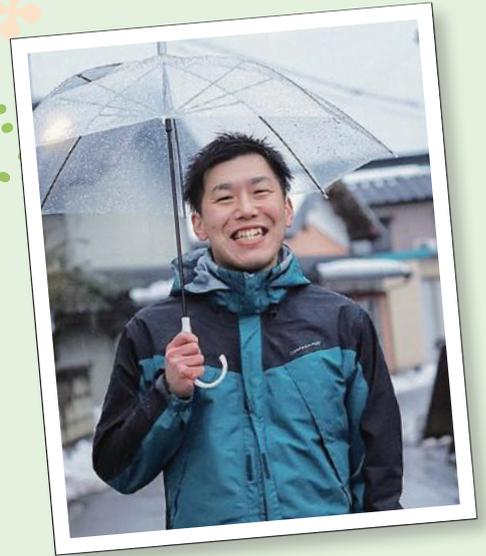
常任委員会名	調査日	内 容
総務文教	10月25日	GIGAスクール構想の現状について 説明員：学校教育課 村上南小学校、村上第一中学校（場所：村上南小学校、村上第一中学校）
		ハザードマップを活用した防災対策の取組について 説明員：総務課 （場所：大月津波避難路、馬下津波避難路）
市民厚生	10月12日	議第75号公の施設に係る指定管理者の指定について 説明員：副市長、環境課、総務課 （場所：村上市役所）
	11月8日	民生委員の実態調査について 説明員：福祉課 （場所：村上市役所）
経済建設	10月25日	指定管理者導入施設の事業内容及び経営状況等について 出席者：ゆりの会企業組合、とれたて野菜市かみはやし株式会社、株式会社まほろば 説明員：観光課、神林支所産業建設課 （場所：村上市役所）
		市営中川原住宅の現状と今後について 説明員：都市計画課 （場所：村上市役所）
	11月4日	公益財団法人山北産業振興公社の事業内容及び経営状況等について 出席者：公益財団法人山北産業振興公社 説明員：農林水産課、山北支所産業建設課 （場所：村上市役所）
		公益財団法人イヨボヤの里開発公社の事業内容及び経営状況等について 出席者：公益財団法人イヨボヤの里開発公社 説明員：農林水産課、観光課 （場所：村上市役所）

# ムラカミ

## 広報特別委員会委員が おじゃましました!

### 住民が主役の地域へ

すがいとしひろ  
須貝俊大さん(大津)



#### ■自己紹介をお願いします

村上市大津出身の34歳です。高校卒業後は都内の大学に進学しましたが、地元の三匹獅子踊りの保存と継承のため県内で教職に就きました。教員時代は県内各地におりましたが、転職を機に6年前実家に帰ってきました。現在は、郵便局でお客サービスを行う傍ら、おらだり育援隊、まちづくり協議会および郷土芸能団体に所属し、地域コミュニティ活性化の活動を行っています。

#### ■村上市への思いは

出身地の大津集落には三匹獅子踊りがあり、そこでの経験が今の活動の原点になっています。地域の祭りにはさまざまな年代の人が関わっています。地域の大人が笛や踊りを「上手だ」「がんばれ」と認めてくれたことが嬉しく、「自分の居場所はここで、ここを

守っていきたい」と思うようになりました。おらだり育援隊やまちづくり協議会の活動も、次の世代にふるさとの良さ、温かさを感じてもらいたいと思って始めました。

#### ■今後の抱負をお聞かせください

地域を担い次世代にバトンをつなぐには、「子育てをする親の意識」と「誰もがチャレンジできる体制」が重要だと考えています。親が「ここはいいところだ」と思っていれば、子ども地域に愛着を持ちます。子育てをする親に響く企画に取り組んでいきたいです。最近「地域のためにやりたいこと」がある人から相談を受け、サポートやコーディネートをすることも多くあります。踏み出すハードルを低くし伴走することで、地域のために活躍する当事者を増やしていきたいと思っています。

### 議会だより研修 「読ませる」ツボは?

R3.11.22



議会広報特別委員会では、より分かりやすい、読んでもらえる「議会だより」を目指し、新潟日報社村上市局長・杉崎文治氏を講師に研修会を開催しました。

紙面づくりの基本として、簡素なレイアウトにも写真やグラフィックを入れながら、写真の向きや位置にも気配りをする。そして「見出し読者」という言葉があるように、記事本文を読まない人も多いため、「読ませる」見出しづくりに励んでほしいと指導を受けました。また、委員会の記事の見出しは、質問者側の問いではなく、委員会で引き出した「果実」を示すことが読者を引き付けることになると、見出しづくりのツボを助言いただきました。

### 令和4年 第1回定例会のお知らせ(予定)

2月8日(火)	請願・陳情の提出期限(正午まで)
22日(火)	定例会初日(本会議)
24日(木)	代表質問(本会議)
28日(月) 3月1日(火) 3日(水)、4日(金)	一般質問(本会議)
7日(月)、8日(火)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
9日(水)、10日(木)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
11日(金)、14日(月)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
17日(水)	一般会計予算・決算審査特別委員会
23日(火)	定例会最終日(本会議)

\*この日程は変更されることがあります。  
\*開会時間は午前10時です。